

連載 103 在宅医療奮闘記

平成7年より在宅を開始した私の思い出

(医)東西会 千舟町クリニック院長
橋本 満義 (66歳・内科)

夜のネオンは、ストレス社会のオアシス (くれぐれも安全・安心に)

これは、健康面に関する話です。若い男女や青年たちの振る舞いはさておき、高齢者特有の成人病疾患に苛まされている人たちは特に、羽目を外す時、合併症が暴れだします。

私も、日々のノルマ(脳活性そして老化防



止)として、たまに「関八州見回り」のごとく高級クラブを狙って出没することがあります。案外とその辺りに各種業界のリーダーが徘徊しており、狭心症や糖尿病などの病い持ちも多くなったりするのです。

誤嚥で咽喉頭部に物を詰まらせたり、心臓が止まったりする場合には、5分以上たつと急速に生存率が0%に近くなります。だからこそ、店の従業員(ウエーターやウエートレスなどは、救急蘇生法(AED、心臓マッサージ、マウス・ツー・マウスなど)の研修を受けることが必須なのです。

最近も、某グループホームで昼食後、誤嚥性意識障害で救急搬送され、窒息死となった

事例がありました。

私たちには、人の命の尊さを真摯に受けとめ、医療・介護業界から地域のみなさんに対して

超高齢者社会到来をふまえ、すでにあちらこちらで「救急蘇生研究会」は花盛りのようではあります。しかし、それらはあまりにヒエラルキー的トップダウン方式なため、敷居が高く、その実効性に難があるように思えます。

だからこそ、私たちは、BLS Instructorの資格を持つリーダーをトップに、「安全・安心・健康塾」の活動を開始しました。そして、老若男女の参加



し、その啓蒙活動を積極的に行うことが求められています。あくまでも、24時間安全・安心な生活空間実現のために!

者が中心の、肩の凝らない、楽しくしっかりと身に付く勉強会にしようと心がけています。

今年(平成28年)4月から始めた、一般住民向け・企業向けのこの研修会も早や20回を越えました。しかも、毎回みなさんから高い評価をいただき、スタッフもより一層のやりがいを感じています。今後とも、この活動を続けていきたいと思っています。

外来診療(かかりつけ医) 要予約 総合内科・漢方診療科

お医者さんが 24時間・365日体制で対応
来てくれる (松山市全域)

私たちは、質の高い在宅医療・看護・介護を目指しています。



医師数 22名
(常勤8名、非常勤14名)
内科・外科専門医 18名
(国立がんセンター勤務歴有3名)
精神科専門医 2名
麻酔科専門医 2名
(ペインクリニック科)
末期がん治療(緩和ケア)相談室開設!

Hyper Blood Viscosity (高血液粘度群)を科学する 臨床生命科学(体質・病態学、栄養学)研究所開設
「地方創生健康長寿研究会」平成27年4月1日発足

機能強化型・有床 在宅療養支援診療所
(医)東西会 千舟町クリニック

松山市千舟町6-4-9 Tel:089-933-3788
http://www.touzaikai.jp/